

## 第7回 アシスト JP1 ユーザ会

# Select 開催報告レポート

JP1 ユーザ会 Select では、運用の現場で活躍されている皆様が、日々の様に JP1 を活用しているのか、また更なる運用の効率化や改善のための取り組みについて、お客様同士で共有して頂くための場を提供しています。

開催日：2016年6月22日（水）  
会場：株式会社アシスト

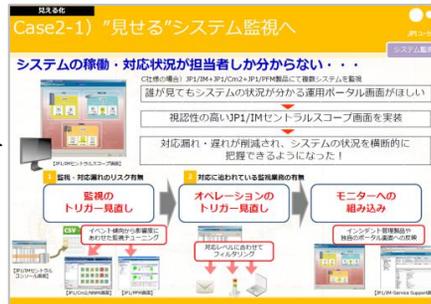
今年は『現場から始める運用品質への Plan・Do・See』を年間テーマに、業務改善、運用品質の向上に向けて「Plan(計画)」「Do(実践)」「See(振り返り)」の全3回を通してお客様同士、またアシストやメーカーと一緒に改善策を検討します。「Plan」である今回は、「2016年 私の現場改善プラン」と題して、アシストよりシステム運用における課題解決のための JP1 活用方法の発表や、3名の代表ユーザ様からは現状の運用業務の課題と今年改善したいポイントを発表いただきました。



### Technical Session 運用改善の一手（改善の視点・JP1 活用例）

これまで以上に求められる「ミスのない運用」は、人の手を介したその場その場での対応ではなかなか実現できません。現在の運用業務を「見える化」し、汎用的かつ定型的な業務の「自動化」を推進することが運用品質の向上の第一歩です。本セッションでは、システム運用に携わるリーダ層の方に向けた改善計画立案に有効なポイントと、現場での運用業務担当の方々へ具体的な対策手法（JP1 を活用した改善の一手）をユースケースを交えて発表しました。IT資産管理によるシステム構成の見える化、JP1/IM セントラルスコープによる見せるシステム監視、ブラックボックス化しやすいジョブ管理システムの性能チェックや JP1/AJS3-Web Console による実行状況の確認など、JP1 製品を有効活用することでスピーディーでミスのない運用管理を実現できることをご説明しました。

株式会社アシスト  
システムソフトウェア事業部  
技術統括部 技術支援2部  
松田 圭祐



### Special Session 私の現場改善、今年の一手

今回、システム運用の現場で活躍されている3社3名のユーザ様より、現状の運用業務の課題や今年改善したいポイント、JP1 やアシストに対する要望についてご発表いただきました。



A社様

<改善予定の分野>

- 運用基盤の標準化
- 運用業務の自動化

ジョブ管理

2016年はJP1による基幹システムのジョブ一元化を予定。人手による夜間ジョブ監視を、一部処理を自動化するサービスを検討中。JP1については機能を縮小したライト版の製品ライセンスが欲しい。



B社様

<改善予定の分野>

- 監視基盤の強化
- 運用業務の自動化
- BCP対策
- コスト削減 など

ジョブ管理

監視

2016年はBCP対策と共に運用オペレーションの自動化に向けた商材の検討を予定。品質向上のためJP1の各種機能についてもう少し細かく設定できるように改善してほしい。



C社様

<改善予定の分野>

- 監視基盤の強化
- 運用業務の自動化
- インシデント管理 など

ジョブ管理

監視

今年のテーマは「JP1運用改善」、監視システムからの発報検知後の対応フローやルールなどの整備が急務。またそれに伴うインシデント管理も課題となっている。



実際にシステム運用の最前線でご活躍されているユーザ様のリアルな業務課題、JP1製品への要望について、参加されたお客様もご発表を聞きながら大きくうなずかれる場面が多々見られました。

アンケートにて「共感した」「自社運用の参考になった」と多くのご感想をいただき、お客様をはじめアシスト社員にとっても非常に勉強になるご発表でした。

日頃JP1を活用されるユーザの皆様と、日立製作所およびアシストJP1技術メンバーで、現状の運用に関する課題や今年対策したいポイントについて情報交換しました。

## ● 現状の課題・悩み・対策したいポイント

### <運用面>

- ・大量イベントのコントロールと障害対応フロー
- ・「自動化」の実現可能範囲の見極め
- ・人手によるサーバ/製品メンテナンス時のミス防止
- ・属人化解消のための育成、スキル向上
- ・リスクマネジメントの観点からのIT資産管理

### <JP1製品/機能について>

- ・JP1/AJS3導入サーバのメンテナンス手法
- ・JP1/PFM等の監視結果の自動出力機能が欲しい
- ・JP1製品利用時の費用対効果  
(マネジメント層へのアピールのため)
- ・ジョブシステムの全体像の把握
- ・ジョブ定義のコメント情報をViewで確認したい

**アシスト**  「運用業務の自動化」および「スキル向上、メンバ育成」については、昨年度より継続して優先度の高い課題と認識されているようです。

## 今年改善を予定しているテーマ (アンケートより)



## ● アシストJP1技術担当より

運用メンバーのビジネス貢献をどう経営側にアピールしていくか（正常稼働がどれだけ大変なことなのか）を各社数値化して工夫している点が大変興味深かったです。（アシスト 伊澤）

JP1/AJS3のメンテナンスやジョブの組み方など、製品寄りの議論となりました。メンテナンスに必要なコストを優先するか、工数を優先するかなど、活発な意見交換となりました。（アシスト 加藤・峯崎）

JP1を利用することの効果をマネジメント層へどうアピールしていくか、について情報交換が行われました。普段運用現場の第一線でJP1を活用されているユーザ様のお悩みは共通する部分も多く、どのユーザ様も熱心に他の方のご意見に耳を傾けられている印象でした。（アシスト 松田）

ユーザ様同士の情報交換から、ジョブ管理システムなど「トラブル発生時は担当者しか対応できない」という属人化につながる恐れがあるとのことから、アシストとしてもその辺りをフォローできないか考えさせられる議論となりました。（アシスト 田中）



「構築」や、「メンテナンス」と言ったテーマでの議論が白熱しました。初期構築後のご利用のお悩み等、アシストがなかなか見ることができない部分でのお話しが伺えて、私自身が大変勉強になりました。（アシスト 坂田）

システムメンテナンスへの対応や、ジョブの実行状況の把握・確認など共通する業務に対して、各社独自のやり方やJP1の機能を使用している具体的な対処方法にて、積極的な意見交換がなされました。また、このユーザ会で知った機能・やり方(JP1/AJS3の排他スケジュール機能など)を、実運用でご活用頂いているという嬉しいご意見も頂きました。（アシスト 矢農）



## 次回JP1ユーザ会Select 「運用現場の作業ミスゼロに向けて」

参加無料

2016年9月7日(水) 15:30~19:00 (受付開始15:00~)

会場：アシスト 市ヶ谷本社1Fセミナールーム

主催：アシスト JP1ユーザ会 東日本支部

